わくわく聖書セミナー　1年12回で聖書を読む

第３回　族長たちの物語

**「救いの大計画の始まり」**

前回、3章までで全人類に罪が広がったことを見てきました。12章からは一人の人物アブラム（後にアブラハムに改名）とその子孫であるイスラエル人に焦点が絞られます。

11章３１節に、アブラハムの父テラが家族を引き連れてカルデヤのウル（現在のイラクにあった都市）を出て、カナンの地、後のユダヤへ向かったと書かれています。千数百キロの旅をなぜ始めたのか、それは12章で分かるように神様の命令だったのです。（地図参照）

この命令に従うなら「あなたを大いなる国民とし」「祝福し」（2節）、「地上のすべての民族はあなたによって祝福される」（3節）という驚くべき約束を与えられました。

神様は私たちを見捨てずに、全人類を救う大計画の実行にとりかかりました。それがアブラハムとの契約から始まりユダヤ民族を通し、そしてイエス・キリストを通して「地上のすべての民族」すなわち私たちをも祝福する救いの計画なのです。ガラテヤ3章8節でパウロは、ここに「福音」が予告されていると書いています。

聖書を読んでいくとわかりますが、アブラハムは最初から決して立派な人物ではありませんでした。12章の後半でも妻を妹と偽って自分を守ろうとします。しかし神様は一方的にアブラハムを選び、あなたを祝福すると言われます。そして、そんな一人の弱い人間を用いて、「地上のすべての民族はあなたによって祝福される」と言われるのです。神様はご自分の計画を私たちのような弱い人間を用いて実現させるのです。

**「信仰による救い」**

創世記15章５，６節を読んでください。

ここに「信仰による義」、すなわち行いによらず信仰による救いがすでに示されています。ローマ4章１－５でパウロはこのことを明らかにしています。

旧約聖書には十戒をはじめとして多くの細かい戒めや規定がありますが、救いは決して行いによるのではないことが、聖書の初めから示されているのです。

**「創世記概要」**

|  |  |
| --- | --- |
| 12章 | アブラハム　カナンの地へ旅立つ（75歳） |
| 15章 | アブラハムに子孫が約束される |
| 16章 | 約束を待ちきれず、奴隷の子イシュマエルが生まれる。（アラブ人の祖先）　アブラハム86歳 |
| 17、18章 | 来年子どもが生まれるとの約束。アブラハム99歳。二人は笑った。（イサクは笑うという意味） |
| 21章 | イサクの誕生 |
| 25章 | イサクにエサウとヤコブ誕生 |
| 27、28章 | ヤコブ、イサクをだまして長子の権利を奪う。兄エサウを恐れて逃亡する |
| 29、30章 | ヤコブ、ラケルをめとるため14年働く。レアとラケルの2人の妻との間に12人の息子が生まれる。 |
| 32，33章 | ヤコブ、エサウと対面前夜に神と闘う。 |
| 37章 | ヤコブの溺愛の子ヨセフ、兄たちに奴隷に売られる |
| 39－41章 | ヨセフの波乱万丈の生涯を経てエジプトの高官に。 |
| 42ー48章 | 飢饉のためエジプトへ行き、ヨセフと劇的な再会 |
| 49－50章 | ヤコブとヨセフの死 |

**「神の不思議な計画」**

創世記50章20節で、ヨセフが奴隷に売られたことで、結果的に一族が救われるという神の計画の不思議さが語られています。「すべてを益に変えてくださる」というローマ8章のみことばのとおりです。

イエス様の十字架の死も、不思議な計画と言えるでしょう。

**「アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神」**

出エジプト記3章6節で、神はモーセに現れて、「わたしは、アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神」と名乗りました。完全とは程遠い欠けの多い失敗だらけ人々の神と呼ばれることを恥とせず、神はそれを望まれます。